

令和6年能登半島地震に伴う緊急消防援助隊の派遣について

1 概要

令和6年1月1日16時10分震度7の地震が能登半島に発生したことに伴い、消防組織法第44条に基づき、消防庁長官から出動の指示を受けて、緊急消防援助隊として同年1月3日から派遣している横浜市消防局の部隊の活動状況を報告します。

2 航空消防隊の派遣

(1) 派遣部隊

航空小隊（はまちどり2）1隊 延べ：3回（11日間）、24人 派遣

(2) 派遣場所

石川県小松空港及び能登半島

(3) 派遣経過

1月2日 5時00分 消防庁長官より、航空小隊出動の指示
6時54分 小松空港から、駐機場所が無い
との理由から横浜ヘリポートでの待機指示
1月3日 11時32分 小松空港への、進出要請
13時00分 [第一次派遣]横浜ヘリポートを離陸：1隊8人
1月5日 14時50分 [第一次派遣終了]横浜ヘリポートに帰投
1月11日～14日 [第二次派遣]：1隊8人
1月19日～22日 [第三次派遣]：1隊8人
1月25日 18時00分 消防庁長官より、航空小隊引揚げの指示

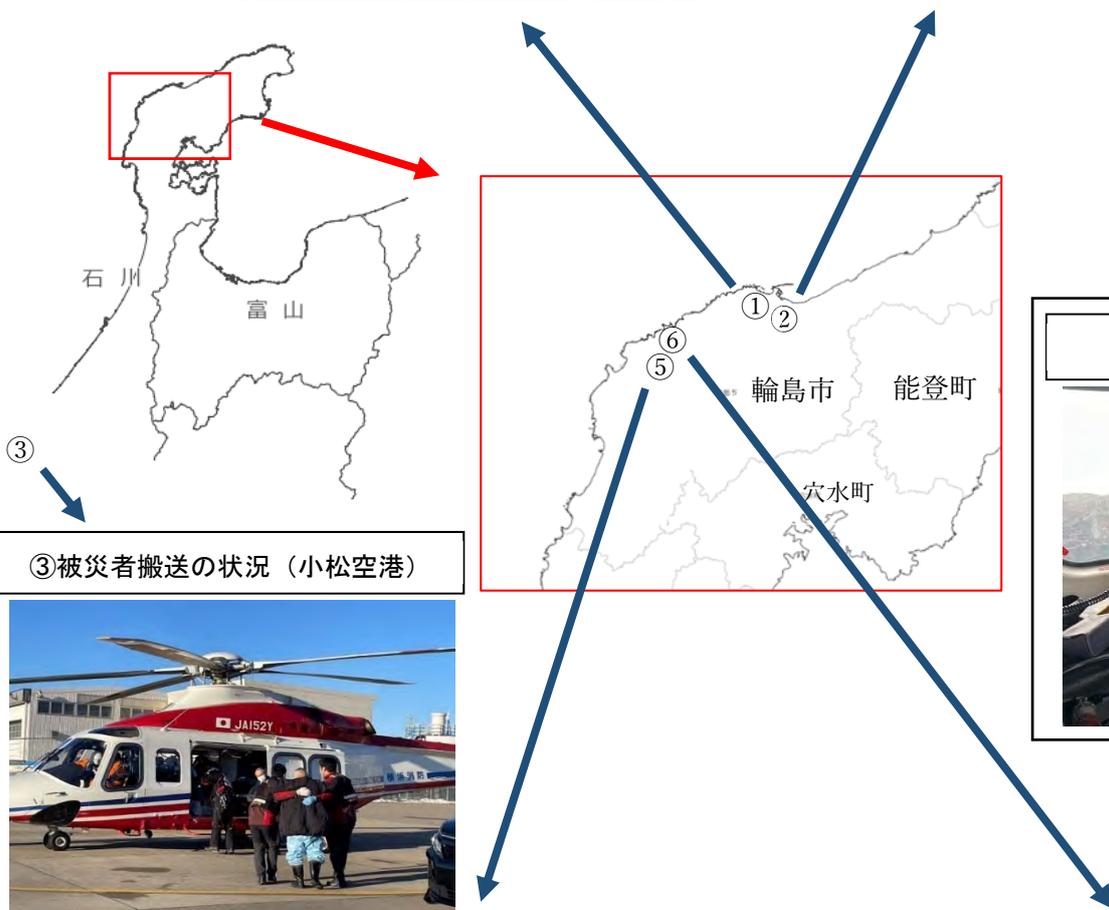
(4) 主な活動内容

- ・負傷者等搬送 6回、延べ18人（そのうちホイスト救助活動あり3人）
- ・救助隊員輸送 9回、延べ38人
- ・孤立地域への人員・物資輸送、情報収集等 4回

①倒壊家屋の状況（輪島市内）



②がけ崩れによる道路途絶状況（輪島市内）



④傷病者搬送の状況



③被災者搬送の状況（小松空港）



⑤他都市隊員の孤立地域への投入状況
（輪島市西二又町 にしふたまたまち）



⑥情報通信業職員及び燃料等の輸送状況
（輪島市上大沢地区 かみおおさわちく）



3 神奈川県大隊(陸上部隊)の派遣

(1) 派遣部隊

神奈川県大隊(神奈川県内 23 消防本部で編成) 延べ：553 隊 1,860 人
横浜市派遣部隊 延べ：143 隊 536 人
※延べ隊・人数は2月9日時点

(2) 派遣場所

石川県輪島市

(3) 派遣経過

1月8日 8時00分 消防庁長官より、神奈川県大隊出動の指示
[震災救助隊を先行派遣]：横浜市派遣部隊2隊10人
※自衛隊輸送機(C-2)を活用

1月9日 [神奈川県大隊第一次派遣]：横浜市派遣部隊18隊73人
(県内消防本部76隊274人)

1月12日 [神奈川県大隊第二次派遣]：横浜市派遣部隊20隊80人
(県内消防本部79隊280人)

1月15日 [神奈川県大隊第三次派遣]：横浜市派遣部隊20隊80人
(県内消防本部81隊285人)

1月18日 [神奈川県大隊第四次派遣]：横浜市派遣部隊20隊80人
(県内消防本部78隊274人)

1月21日 [神奈川県大隊第五次派遣]：横浜市派遣部隊12隊50人
(県内消防本部56隊183人)

1月24日 [神奈川県大隊第六次派遣]：横浜市派遣部隊9隊33人
(県内消防本部37隊124人)

1月27日 [神奈川県大隊第七次派遣]：横浜市派遣部隊9隊32人
(県内消防本部32隊107人)

1月30日 [神奈川県大隊第八次派遣]：横浜市派遣部隊9隊31人
(県内消防本部31隊102人)

2月2日 [神奈川県大隊第九次派遣]：横浜市派遣部隊8隊23人
(県内消防本部26隊76人)

2月6日 [神奈川県大隊第十次派遣]：横浜市派遣部隊8隊22人
(県内消防本部28隊73人)

2月8日 [神奈川県大隊第十一次派遣]：横浜市派遣部隊8隊22人
(県内消防本部27隊72人)
※以降順次派遣予定(2月9日時点)

(4) 主な活動内容

- ・ 輪島市名舟町・町野町・市ノ瀬町の土砂災害による行方不明者の救助活動
- ・ 輪島市河井町朝市通りの火災現場での捜索活動
- ・ 石川県北東部にある91戸の住宅に対し消防隊員の巡回による安否確認
- ・ 輪島消防署などにおいて救急搬送や消防隊の巡回による火災警戒等の支援

①自衛隊輸送機による震災救助隊の派遣
(埼玉県 入間基地)



②横浜市派遣隊の出動
(横浜市消防局)



③土砂災害での救助活動(輪島市^{なふねまち}名舟町)

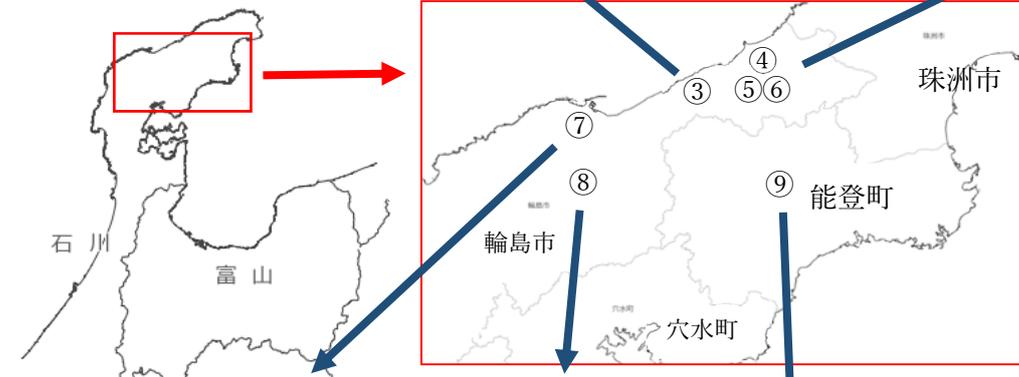


土砂災害での救助現場
(輪島市^{まちなのまち}町野町)

④山道を徒歩にて



⑤⑥救助現場での活動の様子



⑦火災現場での捜索活動
(輪島市^{かわいまち}河井町朝市通り)



⑧土砂災害での救助活動
(輪島市^{いちのせまち}市ノ瀬町)



⑨宿営地(能登町^{のとちよう}やなぎだ植物公園)

